

科 音楽学 (音楽学) 2枚のうちの / 枚目	受験生記入欄		
	科 専攻	声種: 楽器:	受験番号 番

(ア)

(イ)

以下の5部門の中から2部門を選び、選択した各部門の3問題中2問題について答案を提出しなさい。合計4問題の答案は、必ず1問題ごとに別紙一枚を用い、用紙のはじめに選択した問題の部門と番号を明記すること。

◎ 音楽美学

- 音楽創造や受容の考察に際して検証対象とされるべき「言説 discours」の諸相を説明し、考察の結論を導く作業においてそれらがどのように根拠とされるべきか、具体例を挙げて述べなさい。
- 音楽史上の一時代における美学的傾向を検証する際の解釈学的循環の問題について、具体例に触れながら論じなさい。
- 1980年以降に著された音楽民族誌のうち一篇を取り上げ、それが美学の研究にいかなる貢献をしたかを論じなさい。

◎ 音楽理論

- 音楽における「対称性」について論じなさい。
- 以下から三項目を選んで説明しなさい。

(1) Auscomponierung (composing out)	(2) daseian notation	(3) Girolamo Mei
(4) harmonic rhythm	(5) Johannes de Garlandia	
(6) Scriptores ecclesiastici de musica sacra potissimum		
(7) 音響スペクトル	(8) ウルフ5度	
- 8世紀に中国から日本にもたらされた『楽書要録』について、知るところを述べなさい。

◎ 西洋音楽史

- 歴史研究において厳密で客観的な実証的態度は不可欠の前提であるが、どのような実証的研究でも、史料の選択、評価、解釈において、単なる実証ではない契機が忍び込むことがあるし、研究者の置かれた文化や時代特有の期待の地平と同時に、避けがたい偏見やイデオロギーがありうる。以上の事態について、西洋音楽史研究における事例を挙げ、それについて論じなさい。
- 楽譜出版、音楽ジャーナリズム、演奏会制度と音楽創作との関係について論じなさい。
- 以下から三項目を選んで説明しなさい。

(1) chorale motet	(2) conductus	(3) contrafactum
(4) first-movement form	(5) Grundgestalt	(6) key characteristics
(7) thematic transformation	(8) Ut queant laxis	

科 目	受 験 生 記 入 欄		
音楽学 (音楽学) 2枚のうちの2枚目	科 専攻	声種: 楽器:	受 験 番 号 番

(ア)

(イ)

◎ 日本・東洋音楽史

- 20世紀以降の考古学的発見が、日本・東洋諸国の音楽史上に重要な新知見をもたらした事例を挙げて、説明しなさい。
- 日本において「東洋音楽史」研究に貢献した研究者を一名挙げ、その研究成果と今日的な意義および課題について論じなさい。
- 1945年以降、1960年頃までの社会体制や価値観の転換が、日本・東洋諸国の伝統音楽に及ぼした変化について論じなさい。音楽ジャンルをしぼってもよい。

◎ 音楽民族学

- 身ぶりや音楽の関係について、特定の音楽文化に即して具体的に論じなさい。
- 民俗音楽の創造、継承、変化における個人と集団との関係について、具体例を挙げて論じなさい。
- 西洋音楽文化に対して民族音楽学的にアプローチした研究の例を一つ挙げて、それが果たした研究史上の貢献について述べなさい。